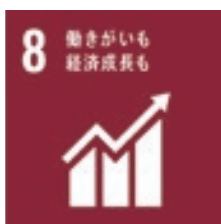


未来につながるアクション



今月は、「働きがいのある仕事」と「安心して働ける環境」について考えてみましょう。職場でのハラスメントという身近な問題を通して、私たち一人ひとりが今日からできる小さなアクションをご紹介します。



キーワードは「ハラスメント」



ハラスメントとは、相手に対して精神的・身体的な苦痛や不快感を与える言動や行為のことを指します。本人に悪気がなかったとしても、受け取る側が苦痛を感じればハラスメントになる点が大きな特徴です。誰もが被害者にも加害者にもなり得る問題だからこそ、正しい理解と配慮ある行動が求められています。私たちができる小さなアクションを一緒に考えてみよう!

あまり知られていないハラスメントをご紹介します

- **カスハラ** (カスタマーハラスメント) 顧客や取引先が、立場を利用して過度な要求や暴言・威圧的な言動を行うこと。
- **マタハラ** (マタニティハラスメント) 妊娠・出産・育児を理由に、不利益な扱いや嫌がらせを受けること。
- **アルハラ** (アルコールハラスメント) 飲酒を強要したり、飲めない人をからかったりする行為。
- **フキハラ** (不機嫌ハラスメント) 不機嫌な態度や無言の圧力で、周囲に精神的な負担を与えること。
- **レイハラ** (レイシャルハラスメント) 人種・国籍・肌の色などを理由に差別的な発言や扱いをすること。
- **ケアハラ** (ケアハラスメント) 介護や看護、育児などのケアを理由に、職場などで不利益な扱いを受けること。

□ ハラスメントを防ぐために

- 「自分は大丈夫」という思い込みを持たない
- 相手の立場や感じ方を尊重する
- 問題を一人で抱え込まない

「自分は大丈夫」という思い込みを持たず、相手の立場や感じ方を尊重する姿勢が求められます。また、問題を一人で抱え込まず、周囲に相談することが、安心して過ごせる環境づくりにつながります。

